

事業番号	03 03 01	事業改善シート（26年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	職員宿舎管理事業			担当課	部局	総務部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・室	職員課		
	施策の総合的展開			E-mail	shokuin@pref.nagano.lg.jp		
				実施期間	S25年 ~		

1 事業の概要

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 職員の赴任地における住居確保等のため、有効活用と戸数の適正化を図る。 職員宿舎の維持管理は、長期的な視点からのコストと便益の最適化を図る。 	
現状	<ul style="list-style-type: none"> 各任命権者が管理している職員宿舎の集約化と相互利用を推進するため、地域内の必要戸数の検討及び調整を行い「職員宿舎管理戸数適正化実行計画」の策定を進める。 現有する職員宿舎を有効に活用していくため、今後、長期的な視点からの大規模修繕（長寿命化）を計画的に進める必要がある。 職員宿舎の一定の保全水準の確保や効率的な維持管理を行っていくため、専門的な見地からの修繕や費用の平準化が必要。 	
県が関与する理由	県でなければ実施不可（内部管理） 県民との協働による実施：困難	【左記の説明、根拠法令等】 地方公務員法第42条、職員宿舎管理規則

事業内容	① 成果目標（H26）					
	○ファシリティマネジメント基本方針に沿って職員宿舎の適正な管理・活用を図る。 ・「職員宿舎の管理戸数適正化実行計画」に基づき順次宿舎を廃止する。 ・維持する宿舎は、適切な維持管理を行い、宿舎の長寿命化に努める。 ・職員宿舎の有効活用を図るため、教育職員、警察職員の相互利用を促進する。（H25年度70人→H26年度85人）					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H26事業実績		H27
				(当初)	(決算)	(当初)
		1. 検査等手数料	直接	・浄化槽、受水槽水質、消防用設備等の法定検査等	3,216	1,963
	2. 委託料	委託	<ul style="list-style-type: none"> ・独身寮賄清掃業務委託(13箇所) ・職員宿舎維持管理委託(1,373戸) 〔受水槽、消防設備、エレベーター等法定点検 宿舎修繕(計画修繕、緊急修繕)等 宿舎整備工事設計管理委託(1箇所)〕 	183,477	182,405	189,681
	3. 賃借料	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・職員宿舎償還金公租公課等(5棟330戸) ・職員宿舎用地等借上(17箇所) 	721,593	724,281	39,976
	4. 修繕等工事費	直接	・宿舎修繕(計画修繕、緊急修繕)等	39,479	30,949	55,075
	5. 負担金	負担金	・共益費負担金(39戸)	6,921	4,919	6,981
	合計			954,686	944,517	294,949

事業コスト	区分(単位:千円)		24年度	25年度	26年度	27年度
	予算額	前年度繰越				
		当初予算	1,148,161	1,116,314	954,686	294,949
		補正予算				
		合計(A)	1,148,161	1,116,314	954,686	294,949
	Aの財源	一般財源	870,395	845,299	699,616	40,371
		県債				
		国庫支出金				
		その他(財産収入等)	277,766	271,015	255,070	254,578
	決算額(B)	1,129,706	1,104,988	944,517		
概算人件費	職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	
	概算人件費(C)	8,258	8,258	8,258	8,258	
	概算事業費(B(A)+C)	1,137,964	1,113,246	952,775	303,207	

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27
		目標	成果	達成状況	目標
職員宿舎の入居率	80%	80%	80.1%	達成	81%
宿舎共同利用の拡大	75人	85人	85人	達成	88人

目標に対する成果の状況	○入居率の向上については、年度中途の入居募集を随時実施するとともに、使用しない宿舎の廃止を進め、成果目標を達成した。 ○共同利用の拡大については、教育職員、警察職員への宿舎情報の提供に努めるとともに、平成25年度に策定した「職員宿舎共同利用実施要領」により共同利用に向けた取り組みを促進することにより成果目標を達成した。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 ○各任命権者が管理している職員宿舎の集約化と相互利用を推進するため、平成25年度に策定した「職員宿舎管理戸数適正化実行計画」及び「職員宿舎共同利用実施要領」に基づき、職員宿舎の有効活用と戸数の適正化を図る。 ○現有する職員宿舎を有効に活用し、一定の保全水準を確保するため、長期的な視点からの維持管理コストの平準化や貸付料の引き上げ等について検討を進める。
--------------------	---